

文教ニュース

Ⅱ香川大学Ⅱ

瀬戸内圏研究センター講演会

香川大学瀬戸内圏研究センター（多田邦尚センター長）は12月25日、「香川大学瀬戸内圏研究センター学術講演会」を開催した。この講演会は、同センターが推進する「海、歴史・文化・観光、遠隔医療、水」の各分野に関連する研究者を招き、貴重な講演を聴くことにより、同センターが進める研究や取り組みに対して示唆と弾みを与えてられるとともに、広く一般の人々にも、最新の知見や取り組みなどを知ってもらうことを目的としている。

講演は、同大農学部の東江栄教授による「水質改善基質として利用された植物の多面的価値について」、同大医学部の南野哲男教授による「香川県の心原性脳梗塞をゼロにするプロジェクト」、広島修道大学商学部の富川久美子教授による「ヨーロッパのリゾート島」、大阪市立大学の矢持進名誉教授による「大阪湾東部沿岸域に造成された塩性湿地の環境動



態」が行われた。いずれの講演も、専門家の立場からたいへん興味深い話を聴くことができ有意義な学術講演会となった。会場には、一般参加を含めて約50名が参加し、盛会に終えられた。